

Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局本部

〈目 次〉

〈定例理事会報告〉

I 審議事項

II 各種委員会報告

III 事務局報告

〈事務局からのお知らせ〉

— 〈定例理事会報告〉 —

[2013 年 3 月 3 日 (日) 14:00~15:40 (於)お茶の水女子大学共通講義棟 1 号館 203 室]

定例理事会が 3 月 3 日 (日) 14 時から 15 時 40 分まで、お茶の水女子大学共通講義棟 1 号館 203 室にて開催されました。理事 14 名 (欠席 16 名)、次期大会校より瀬戸健氏、松井千鶴子氏の 2 名および事務局 2 名が参加しました。

I. 審議事項

(1) 第 24 回大会 (2013 年 7 月 6-7 日、上越教育大学) のプログラムについて

大会校の瀬戸会員より、第 24 回大会 (上越教育大学) について、配布資料をもとに次の提案がなされた。

○会場 上越教育大学 (新潟県上越市山屋敷町 1)、研究交流会会場 (町家交流館高田小町)

○公開シンポジウム

テーマ：「よい教師をつくるカリキュラムとは —大学と教育現場とをつなぐ視点から—」

提案者：高岡信也 ((独) 教員研修センター)、水落芳明 (上越教育大学)、油布佐和子 (早稲田大学)

司会者：水原克敏 (早稲田大学)、瀬戸健 (上越教育大学)

○課題研究 (研究委員会：天笠委員、西岡委員、国際交流委員会：磯田副委員長)

①課題研究 I：(仮) カリキュラムの内容と実践 (7 日)

コーディネーター：佐藤理事、西岡理事

②課題研究 II：(国際交流委員会担当) 後期中等教育のカリキュラム改革の動向 (7 日)

コーディネーター：池野理事、磯田理事

③課題研究 III：カリキュラム研究の枠組みや方法論的特徴 (2) (8 日)

コーディネーター：澤田理事、田中理事

④課題研究Ⅳ：カリキュラムの研究・開発・実践をめぐる行政と経営（２）（８日）

コーディネーター：天笠理事、田村委員

（２）「カリキュラム事典検討委員会」の委員の選出について

前回理事会の結果をうけ、２月に郵送により、全理事を対象に投票を実施しました。投票総数は29通、理事会会場で開票を行った結果、次の5名に決定した。

磯田理事（委員長）、近藤理事、長尾理事、西岡理事、八尾坂理事

代表理事より、「カリキュラム事典検討委員会」は事典の編集委員会ではないという発言がなされ、同委員会は（１）事典を刊行するかどうか、（２）事典を刊行する場合、刊行の形態やあり方等、（３）必要な組織体制の整備について、議論することが確認された。

「カリキュラム事典検討委員会」の任期は現理事会の任期内であり、2014年3月の理事会までに答申を理事会に提出することになった。

Ⅱ．各種委員会報告

（１）紀要編集委員会（八尾坂委員長）

資料に基づき、『カリキュラム研究』第22号の編集状況（論文審査、図書紹介、公開シンポジウム・課題研究報告）、および紀要編集委員会の検討課題について、報告がなされた。

（２）研究奨励賞審査委員会（倉本委員）

検討の結果、該当者がなかった。理事推薦の要件を2名から1名へと規程を変更するよう、7月の総会で提案する。

（３）研究委員会（西岡委員）

第4回研究集会（2013年3月23日、於上智大学）の案内がなされた。メールで案内を配信する（転載自由）。公開、参加費無料である。

（４）国際交流委員会（磯田委員）

『カリキュラム研究』の連載について、報告がなされた。22号にフックス氏の原稿が掲載される。23号はグッドソン、I.氏に原稿を依頼し、現在翻訳中である。

（５）広報委員会（工藤委員長、村瀬理事（千葉カリキュラム学会））

2月9日に開催された、千葉カリキュラム学会（於神田外語大学）との連携事業について、報告がなされた。特色あるカリキュラム実践校の成果発表を含め、引き続き、企画を進めていく。

Ⅲ. 事務局報告

(1) 会員現況と寄贈図書の報告を行った。

■会員現況概要 (2013年2月28日時点)

会員総数 734 名 (一般会員 640 名、学生会員 85 名、団体会員 9 件)

※連絡先不明者 9 名、会員一時資格停止者 38 名を含む。

■新規入会会員 (2012年10月29日～2013年2月28日) 3名

	入会月日	氏名	所属	区分	推薦者
1	2012/11/29	富田 知世	東京大学大学院教育学研究科	学生	事務局
2	2013/1/30	大下 卓司	京都大学大学院教育学研究科	学生	事務局
3	2013/1/31	安倍 満志	成田市立成田小学校	一般	事務局

■退会者 (2012年10月29日～2013年2月28日) 1名

	退会日	氏名	所属	区分
1	2013/2/12	谷村 載美	大阪市教育センター	一般

(2) 会計途中報告

「大会経費残金返金」は費目を立て、会計の透明化を図ることになった。また、過年度の決算報告を再監査の上修正し、7月総会で提案することになった。

—— 〈 事務局からのお知らせ 〉 ——

(1) 第 24 回大会関係の諸連絡は開催校からの通知他、学会ホームページ ([URL : http://homepage3.nifty.com/jscs/](http://homepage3.nifty.com/jscs/)) にも掲載されます。新しい情報が加わり次第、随時更新いたしますのでご確認下さい。

(2) 寄贈図書一覧 (2012年10月29日～2013年3月31日 事務局到着分)

	書名	著者	出版社	奥付日付
1	アメリカ教育改革の最前線	北野秋男・吉良直・大桃敏行	学術出版会	2012/10/25
2	新しい時代の教育方法	田中耕治他 3 名	有斐閣	2012/12/15
3	社会科教師のための「言語力」研究	片上宗二	風間書房	2013/1/15
4	家庭科における調理技能の教育	河村美穂	勁草書房	2013/1/25

(3) 平成 25 年度 (2013 年度) と平成 24 年度 (2012 年度) 分会費納入のお願い

平成 25 年度分の会費の納入をよろしくお願ひいたします。

また、平成 24 年度分の年会費が未納の方は、納入をお願ひします。2 月 27 日時点での **2012**

年度会費の納入率は88%です。納入促進に会員のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。年会費を滞納しますと、学会誌が送付されなくなりすると同時に、大会での発表資格・学会誌への投稿資格を失いますので、ご注意願います。

会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、些細な点でも結構ですので、ご遠慮無く(株)国際文献社内・日本カリキュラム学会会員窓口までお問い合わせください。よろしくお願い致します。(年会費：一般 8,000 円、学生 5,000 円、団体 10,000 円)

【 入・退会、年会費納入、会員 web 管理、会報発送等各種問い合わせ先 】

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

日本カリキュラム学会 会員窓口

TEL : 03-5389-6213

FAX : 03-3368-2822

E-mail: jscs-post@bunken.co.jp

【 上記以外の学会運営に関する問い合わせ先 】

〒112-8610

東京都文京区大塚 2-1-1

お茶の水女子大学 文教育学部 人間社会科学科

日本カリキュラム学会事務局本部 富士原紀絵

E-mail: jscs@nifty.com

【 学会ホームページ 】

URL : <http://homepage3.nifty.com/jscs/>